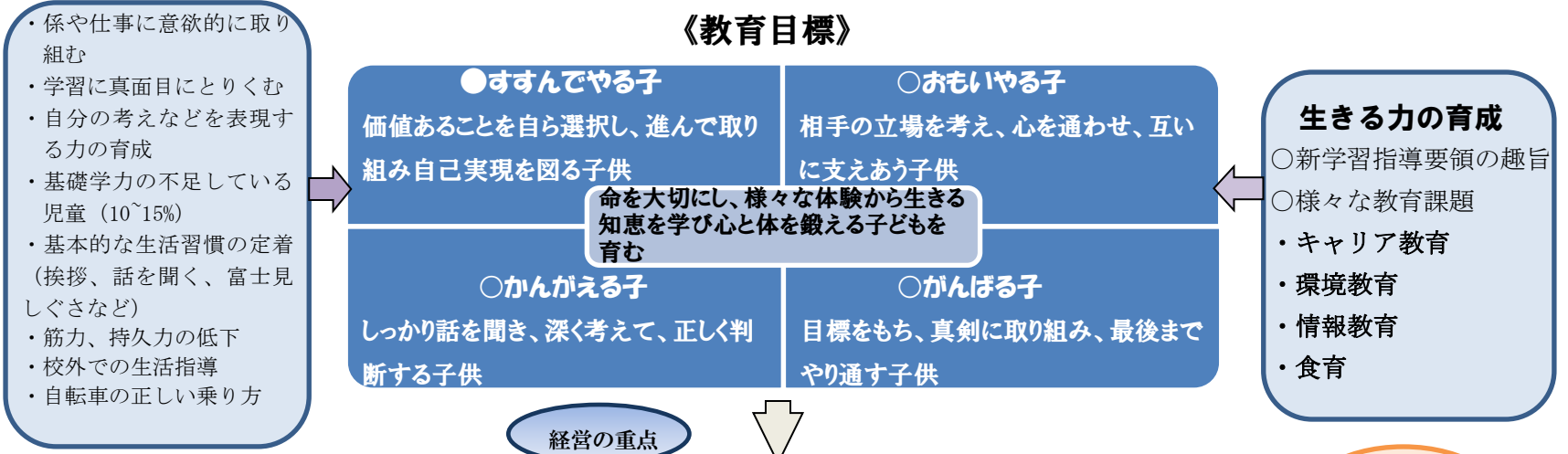


《教育目標》



- ①積極性 子供のためには機敏に 協働して動こう
- ②着実性 基礎基本の定着など確実な成果・評価を
- ③柔軟性 変化への対応 PDCAサイクル
- ④信頼性 信頼される教師・学校

学校が楽しい 明日も学校に来たい

「フィット&フレンドリー 自分を高めて みんなで伸びよう」

良好な人間関係

- ・安心して自分の意見が言える。
- ・よさを認め、自信をもたせてくれる先生や友達がいる。(自己肯定感を育む)
- ・温かい人間関係がある。

たのしくわかる授業

- ・勉強を丁寧に教えてくれて分かりやすい。
- ・好奇心や学ぶ意欲がでる授業や行事がある。

信頼される学校

- ・尊敬し信頼できる先生がいる。
- ・情報の交流があり、開かれた学校
- ・地域や家庭と一緒に子供たちを育てている。

安全で生き生きと生活できる

- ・生活規律・学習規律が守られ落ち着いた学ぶことができる。
- ・きれいな整った学習環境。
- ・学んだことを生活で生かしている。

確かな学力の育成 (学力向上計画)	心身ともに健康な子供の育成	開かれた学校づくりの推進 特色ある教育活動	信頼される学校・教職員づくり (学校力を高める)
<p>1、「わかる」「できる」「たのしい授業」の実践と学習意欲の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲と思考・判断・表現力の育成 ・習得・活用、探究的な学習の実施 ・意図的、計画的な指導と授業時間の確保(土曜授業プランの実施) ・読解力の育成、言語活動の充実 ・家庭学習の充実(学年×10分+10分) <p>2、教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して学べる環境(学習規律) ・清潔で美しい学校(教育環境の整備) ・読書活動、環境の充実 ・学習意欲を高める掲示環境 <p>3、指導と評価の一体化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルによる授業改善(学力調査の結果を授業改善へ) ・児童の自己教育力を高める通知表 <p>4、教育課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育 環境教育 食育・消費者教育 情報教育(モラル) 	<p>1、人権尊重の精神の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いのちとこころの教育」の推進 ・差別や偏見を許さない毅然たる指導と言語環境の整備 ・特別支援教育の推進(個別の教育支援計画の作成) ・いじめ生活実態調査の実施 <p>2、豊かな心の教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の充実 ・あいさつの励行 ・富士見っ子ファミリーの活動の充実 ・ふれあい月間の推進 ・読書活動の充実(読み聞かせ) <p>3、生活指導の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふじみしぐさ・「約束」の徹底 ・家庭と連携した基本的な生活習慣の徹底・実態調査(しゃきピカカード) ・安全教育 校外での生活指導 ・学校サポートチーム、ケース会議 <p>4、体力の向上と健康増進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づいた食育指導 ・体育授業、保健指導の工夫 ・体力月間、日常の体力向上(一校一取組、一学級一実践) ・外遊びの励行、青空タイム ・体力テストの活用(D・E児を減らす) 	<p>1、子供に開いた学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己実現を支援する。(受容と共感) ・自己肯定感を高める。(活躍する場、認める場) <p>2、教職員に開いた学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級、学年の壁をひらく(富士見の子、みんなで指導) ・教師+教師<教師×教師 協働して組織として動く <p>3、保護者・地域に開き透明性と親しみを感じる学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校公開・便りやHPの工夫 ・保護者会や個人面談の工夫 <p>4、地域は教材、地域は教室、地域は先生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統・文化理解教育の推進 ・自然環境や専門家の活用 ・土曜子ども講座、課外クラブ、地域行事への協力支援 ・放課後子ども教室への協力 ・生産体験推進事業の実施 ・チャレンジ25宣言校(環境教育) ・わくわくサポーターとの連携 <p>5、教育の情報化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報教育の推進と校務の情報化 ・ICT能力の向上と環境整備 	<p>1、教育のプロとしての自覚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「研究の富士見小」として、自己研鑽と共同研究に取り組む。 ・計画的なOJTによる研修と日常的な学び合う姿勢を大切にする。 <p>2、サービスの厳守</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員としての高い倫理観 ・個人情報管理の徹底 ・法令の遵守 <p>3、社会人としてのマナー、モラル、礼儀</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・電話、来校者への対応 ・言葉遣い ・服装 <p>4、説明責任を果たす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正で客観的な学校評価の実施と自己評価の公開 ・個人面談、保護者会の工夫 <p>5、学校力を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働した教育実践と共有化 ・共通した指導法の開発(研究)

- 学力と体力の向上(実態調査から明らかになった課題への対応)
- 新学習指導要領完全実施にともなう指導法・指導計画・通知表の改善を進める。
- 校務の効率化を図る(情報化、単純化、計画的な提案と実践)
- 授業時数は10%増加、教科書は25%増えている。学校で指導すべき内容の精選と重点化、教育活動などの見直しをする。